

海上安全サポーター参加！ 洋上で安全パトロール

10月26日、宮城海上保安部は釣り中の事故ゼロを目指し、宮城県小型船安全協会、海上安全サポーターの谷田圭さん、戸田彩子さん、横山美佳さんと洋上安全パトロールを合同で実施しました。



パトロールは同協会会員の遊漁船に乗船し、松島湾内で釣りを楽しむプレジャーボート6隻、11名に対し、リーフレットやポケットティッシュを配付し、釣り中の海中転落事故防止や安全運航を呼びかけました。

* 秋に増加！ 釣り中の事故 *

宮城県内では、秋季に釣り中の事故が多発する傾向にあります。過去5年間で釣り中の事故に遭った26人のうち約5割にあたる12人が秋季の事故です。

うーみんから 釣りをする人へ お願い！



釣り船等から投げたルアーが漁網や養殖いかだに絡まって、漁師さんが怪我をする事故が増えているそうよ。

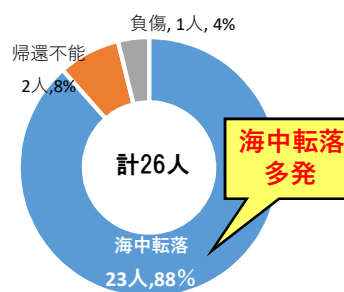
釣りをするときは、漁業施設にルアーや釣り糸が絡まないように注意してね！もちろんルアーや釣り糸を海に捨てるのはいけません！！

海で活動するすべての人の安全をみんなで協力して守っていきましょうね。

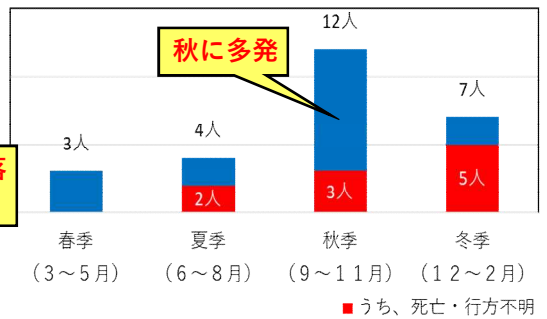


漁具から除去されたルアーの一部

【釣り中の事故 種類別の割合 (過去5年累計)】



【釣り中の事故の発生時期(過去5年累計)】



また、釣り中の事故の約9割にあたる23人が海中転落しています。宮城海上保安部は、「救命胴衣等必要な装備を着用する」、「複数名で行動する」、「事前に天気予報を確認し無理はしない」、「事故が発生した場合海の緊急通報118番に通報する」、そして、「防波堤等の立入禁止区域や危険な場所には立ち入らない」ことを呼び掛けています。

小型船安全協会 ってなに？ 教えて！ うみまる



プレジャーボートやヨットなど小型船舶の海難防止や運航マナーの向上などを図るボランティア団体だよ。安全で秩序ある海洋レジャーの普及や発展を目指して全国各地に設立されているんだ。

宮城県では宮城県小型船安全協会が平成7年に設立され、現在は23団体約140名が県内各地で活動しているよ。



参加者は、誰でも服と靴を着用したままでも浮くことができること、ペットボトルなど身近なものが浮力になることや救命胴衣を着用すると楽に浮いていられることを体験しました。また、家族や友達も海で事故に遭わないように安全教室で学ぶことを伝えていくことを約束した児童全員が海上安全ジュニアサポーターに認定されました。

「海の安全教室」開催

「釣り中の海中転落に備えて」

10月2日、美里町立南郷小学校主催の「海の安全教室」が美里町スイミングセンターで開催され、同小学校4年生39名、6年生36名の児童と教師10名が、宮城海上保安部職員4名の講師のもと、釣り中に海に落ちてしまった時の対処法などを学びました。

参加者は、誰でも服と靴を着用したままでも浮くことができること、ペットボトルなど身近なものが浮力になることや救命胴衣を着用すると楽に浮いていられることを体験しました。